

# 混相流数値シミュレーション

大阪大学 大学院基礎工学研究科 氏名 杉山 和靖

**目的** 混相流のソフトウェア開発を行う。二相界面をシャープに捕捉し、表面張力による垂直応力の跳躍を精度良く予測する方法を主な課題とする。

**内容** 現有のVolume-Of-Fluid法/MTHINC法, Boundary Data Immersion法に基づく気液二相, 流体構造連成コードの整備を進めた。

**結果** MPI並列版コードの動作確認を行なった。  
OCTOPUSを使用してのプロダクトランは行なわなかった。

利用した計算機      OCTOPUS